

# 産学官連携と人材育成

毎日新聞科学環境部

「理系白書」取材班

元村有希子

2005年6月25日

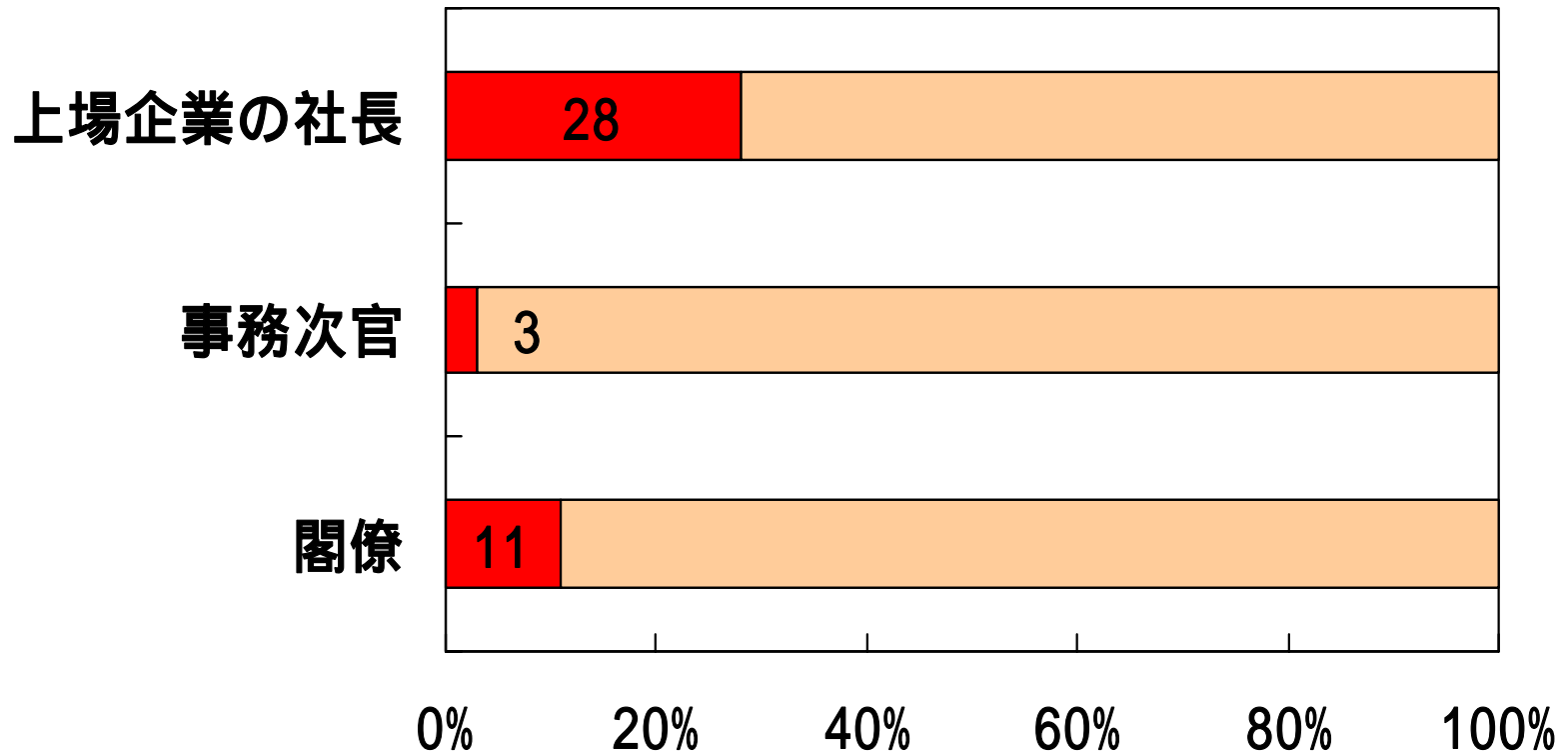
# 「理系白書」



- ・毎日新聞科学面に掲載  
(02.1 ~ 03.4)
- ・単行本「理系白書」(03.6)
- ・04年は月1回特集
- ・韓国語版出版(04.6)
- ・「理系白書ブログ」(04.9 ~ )
- ・05年は「文理の壁を壊そう」

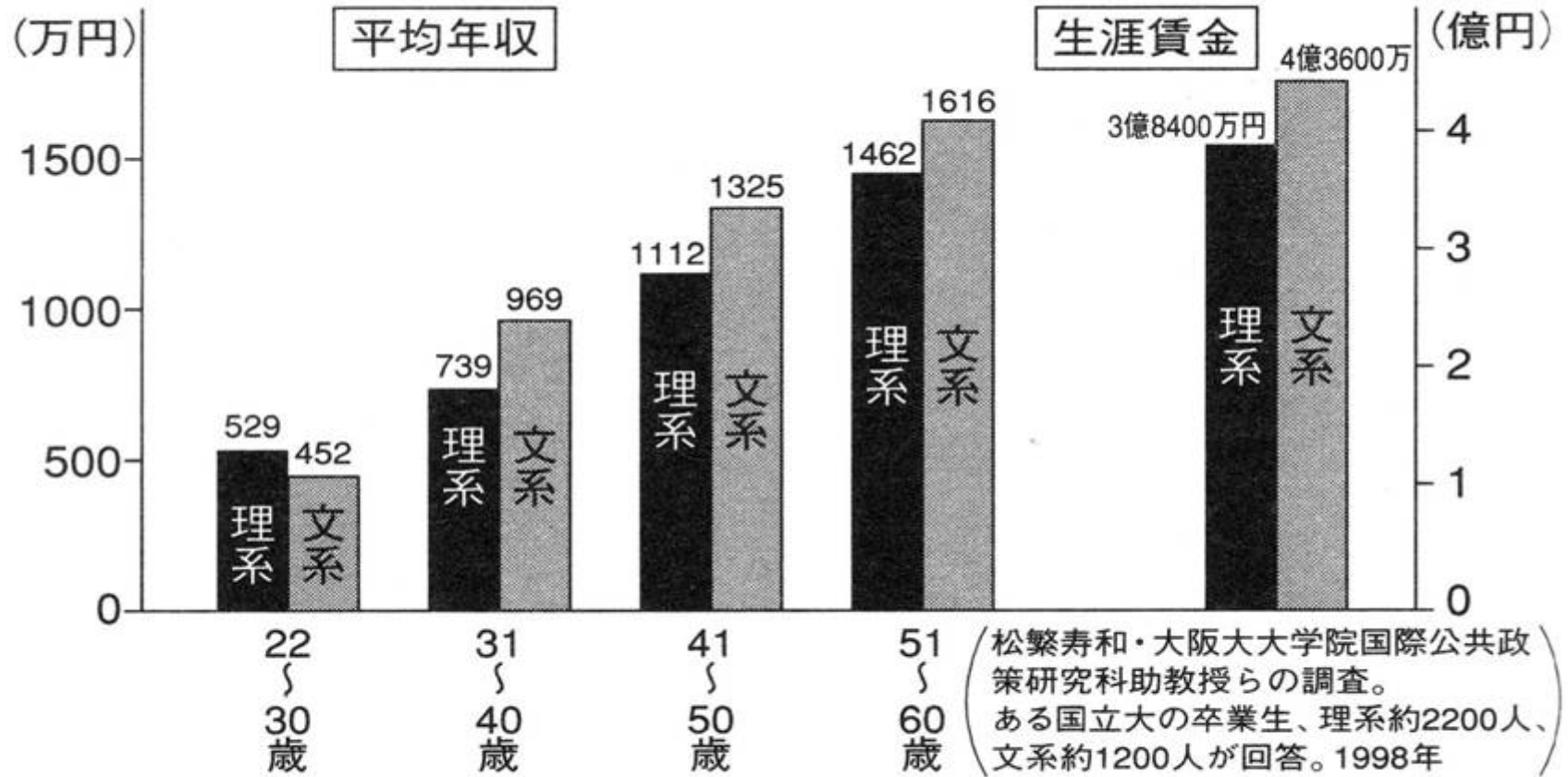
講談社刊

# 政官財の理系リーダー



(自民党小委の資料から、2001年)

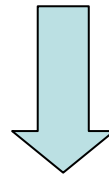
# 文理格差は「家1軒」



文系出身者と理系出身者の賃金格差

# 私たちの問題提起

- 就職難(食わず嫌い、ポスドク難民)
- 昇進や対価で不遇(縁の下の力持ち)
- 専門性の壁(社会で主役になれない)



科学技術立国の「人財」なのに  
ヘンだぞ？

# 増える文系就職



東大の場合、理系学部卒の15%以上がメーカー以外に就職している

(毎日新聞「理系白書」取材班調査)

# 院卒社員は「期待はずれ」

- ・ 専門分野における実践教育(企画・立案、実験、データ処理、論文作成)の不足
- ・ 自由な発想力
- ・ 評論家タイプ
- ・ 研究経験の不足

(民間企業の研究活動に関する調査、文部科学省、2002)

# じゃあどんな人材が？

「現在は産業革命の時期であり、新しい知識を作り出していく必要がある。論理的思考ができる、地アタマのよい、マイナス志向でない性根のよい人が欲しい。」

(理系白書シンポジウムin  
関西 2005.3.14)

インクス・山田眞次郎社長





# 産と学の3大ミスマッチ

1. 目標 = 利潤か、社会貢献か
2. 利害 = カネ、特許の扱い
3. 人材 = 就職

官の役割は？

- ・ミスマッチをなくす制度整備
- ・がんばる人へのインセンティブ

# ヒトゲノム計画敗北の背景

和田昭允氏の衆院委員会答弁(04.5.26)

1. 真のリーダー不在
2. 異なる領域(生物学と物理学)の相克
3. 企業の実験不足
4. 科学と産業との壁
5. 米国の抵抗と日本側の「配慮」

# カミオカンデ計画成功の背景

1. 強力なリーダーシップ
2. 純粋科学志向と長期的視野
3. 企業の理解
4. 科学と産業との協働
5. 国際競争という動機付け

価値観一致なら、基礎も応用も連携は可能